



ファームウェアバージョン:	V1.09B61	
ハードウェアバージョン:	DSR-1000N	A1G
	DSR-1000	
	DSR-500	
発行日:	2014/8/12	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しい DSR シリーズにインストールを行う際には、デバイス本体上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用の DSR がファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください

DSR シリーズに関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

## 目次:

変更履歴とシステム要件:	2
注意事項:	2
USB ストレージへの自動バックアップ/リストアの設定に関して:	3
WEB GUI を使用したアップグレード手順:	4
追加機能:	6
修正した問題点:	6
既知の問題:	9

**変更履歴とシステム要件：**

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
Runtime : V1.09B61	2014/8/12	DSR-1000N	A1G
		DSR-1000	
		DSR-500	

**注意事項：**

- DSR シリーズは 3G 機能をサポートしていません。
- Microsoft Windows XP は DSR ルータの USB ストレージへのアクセスに関して、制限事項があります。Windows XP 環境での制限を解除するために、D-Link ではレジストリスクリプトファイル (winxp.reg) を提供しています。このスクリプトファイルを適用しない場合には、Windows XP から USB ストレージへのファイルのコピーはできません。(この制限は、USB ストレージから Windows XP へのファイルのコピー時には発生しません)
- 1.04B58 以降、新しいユーザデータベースアーキテクチャが実装されています。新しいユーザデータベースはより簡単かつ直観的に利用できます。DSR のファームウェアを 1.04B58 以降にアップグレードする際は、DSR は古いデータベースでのユーザを新しいものに自動的にマージします。しかしながら、1.04B58 から古いファームウェア (例：1.03B43) にダウングレードする場合には、新しく作成したユーザ、ファイアウォールルール及びアプリケーションルールは削除され、前のファームウェアで設定されたユーザ、ファイアウォールルール及びアプリケーションだけを保持します。  
注意：古いバージョンにファームウェアをダウングレードする場合は、リカバリのため、設定ファイルをバックアップしておいてください。
- ファームウェアをダウングレードする場合は、アップグレードする場合よりもシステムの再起動に時間がかかります。
- DHCP 予約 IP アドレス機能が、「DHCP IP プールの範囲内」をサポートするようになりました。取得済みの古い DHCP 予約 IP アドレスは、今後も有効です。新規で DHCP 予約 IP アドレスを作成する場合は、新しい動作に従って作成されます。
- 1.04 から 1.06 以降のファームウェアにファームアップを行った場合、一部の設定が引き継がれない場合があります。ファームアップ後に設定内容をご確認ください。
- RADIUS/LDAP/AD/POP3 を含む外部データベースを通して SSL VPN ユーザを認証するには、ローカルユーザデータベース内と同じユーザ名・パスワードで、管理者がユーザアカウントを作成する必要があります。

## **USB ストレージへの自動バックアップ/リストアの設定に関して：**

D-Link DSR ルータは、USB デバイスが挿入されている間は、自動的に設定のバックアップもしくはリストアに対応しています。次の情報は、バックアップ/リストアを実行するための条件となります。

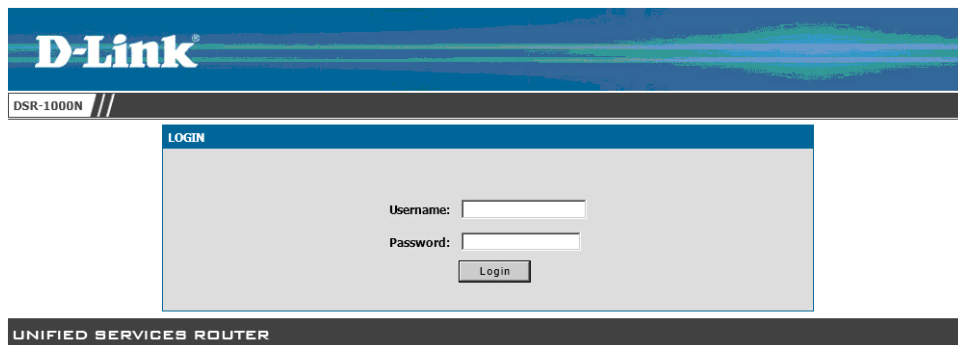
1. 本ルータの設定では、USB ドライブが挿入されるとすぐに自動的に USB ドライブにバックアップを行います。既に存在する DSR ルータからのバックアップ設定ファイルを持っていない USB ドライブには、「<モデル名>\_<シリアルナンバー>.cfg」という形式でバックアップファイル名が提供されます。
2. ルータのシステム LED は、バックアップ操作が開始されることを示すために橙色に 3 回点滅します。
3. USB ドライブの設定ファイルは、ユーザが手動で WEB GUI のどのページにもある“Save Settings”ボタンをクリックし、USB ドライブに既に存在するファイルとルータのモデル名及びシリアルナンバーが一致すると更新されます。
4. リブートの場合においては、ルータは現在の設定ファイル（<モデル名>\_<シリアルナンバー>.cfg）を確認します。もし設定ファイルが検出されれば、USB ドライブの設定ファイルはルータにリストアされます。正しいフォーマットの設定ファイルが接続された USB ドライブの両方に存在する場合、最初の USB ドライブの設定ファイルをルータのリストアに使用します。
5. USB ドライブは各モデル名にたいして、<モデル名>\_<シリアルナンバー>.cfg のフォーマットで 1 つのみ設定ファイルをもつことが可能です。
6. USB ドライブを工場出荷時状態のルータに挿入し、リブートを行った場合、ルータに既にカスタマイズされた設定ファイルが存在しない時には、バックアップファイルは保存されません。ユーザが手動で WEB GUI のどのページにもある“Save Settings”ボタンをクリックすると、カスタマイズされた設定ファイルが USB ドライブに保存されます。

## WEB GUI を使用したアップグレード手順：

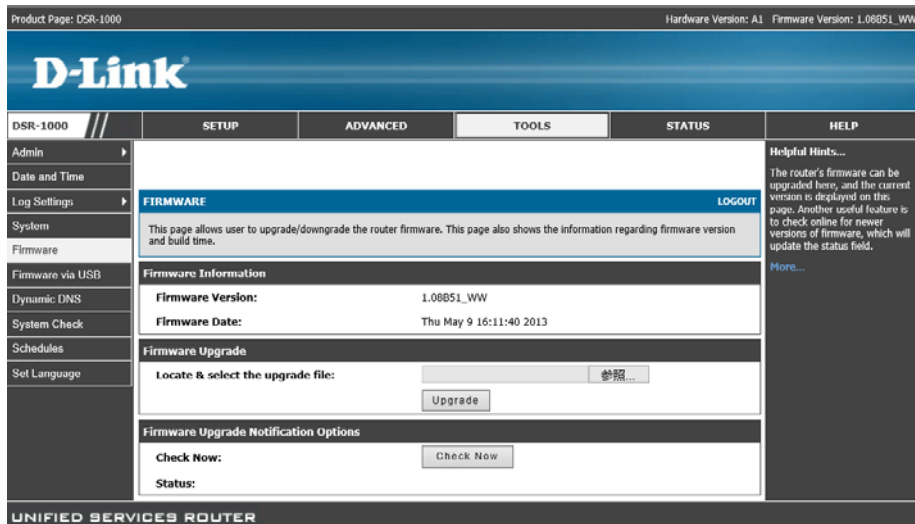
1. システムの IP アドレスを指定してルーターにアクセスします。  
デフォルトのシステム IP アドレスは 192.168.10.1 です。



2. ログイン画面で、「Username」と「Password」を入力 → 「Login」をクリックします。  
初期状態の「Username」と「Password」は、「admin」です。



3. TOOLS > Firmware の順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。



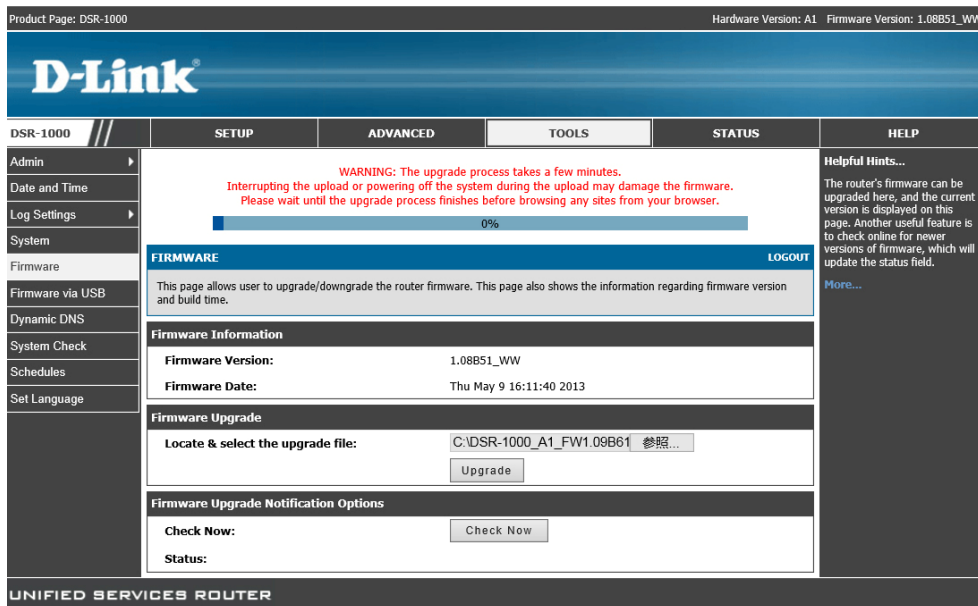
4. 「参照」ボタンをクリックしてファームウェアイメージの場所を選択し、「Upgrade」ボタンをクリックします。



5. 確認画面が表示されるので、「OK」をクリックします。

## 6. ファームウェアアップデートのステータスが表示されます。

Product Page: DSR-1000 Hardware Version: A1 Firmware Version: 1.08B51\_WW



**D-Link**

DSR-1000 // SETUP ADVANCED TOOLS STATUS HELP

Admin  
Date and Time  
Log Settings  
System  
Firmware  
Firmware via USB  
Dynamic DNS  
System Check  
Schedules  
Set Language

**FIRMWARE** LOGOUT

This page allows user to upgrade/downgrade the router firmware. This page also shows the information regarding firmware version and build time.

**Firmware Information**

Firmware Version: 1.08B51\_WW  
Firmware Date: Thu May 9 16:11:40 2013

**Firmware Upgrade**

Locate & select the upgrade file: C:\DSR-1000\_A1\_FW1.08B61 参照...  
Upgrade

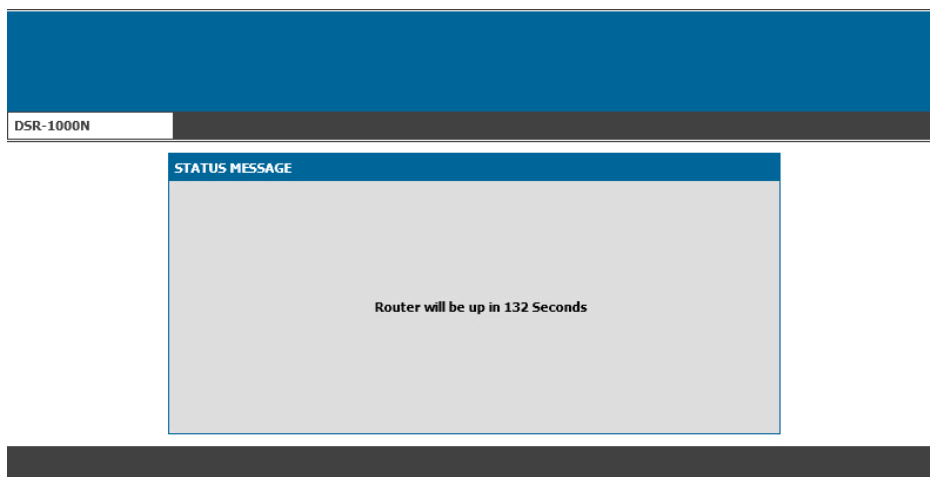
**Firmware Upgrade Notification Options**

Check Now: Check Now  
Status:

**Helpful Hints...**  
The router's firmware can be upgraded here, and the current version is displayed on this page. Another useful feature is to check online for newer versions of firmware, which will update the status field.  
More...

UNIFIED SERVICES ROUTER

## 7. アップデート後、再起動が行われます。再起動中は以下の画面が表示されます。



DSR-1000N

**STATUS MESSAGE**

Router will be up in 132 Seconds

**注意：ファームウェアのアップデート中および再起動中に電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。**

## 8. 再起動完了後にログイン画面が表示されます。 ログインし、ファームウェアがアップデートされたことを確認してください。

## 追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
V1.09B61	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. L2TP クライアントモードで、MPPE およびデマンドダイアリングをサポート致しました。</li> <li>2. PPTP/L2TP トンネルで、AD、LDAP、POP3 を介した外部認証をサポート致しました。</li> <li>3. ブリッジモードで、QoS とファイアウォールルールをサポート致しました。</li> <li>4. Spillover モードを強化し、WAN1 と WAN2 の両方でリクエストに応答するように致しました。</li> <li>5. PPTP サーバがリモートクライアントに LAN と同じサブネットを割り当てることができるように致しました。</li> <li>6. WebUI で、DHCP サーバ設定ページで自動パラメータ入力をサポート致しました。</li> <li>7. CLI でスペース文字をサポート致しました。</li> <li>8. Dbglogs を素早くダウンロードするための新しいクリックボタンをサポート致しました。</li> <li>9. 自動コンフィグバックアップを有効化/無効化するための新しいチェックボックスをサポート致しました。</li> <li>10. コンフィグファイルの暗号化を有効化/無効化するための新しいチェックボックスをサポート致しました。</li> <li>11. 暗号化コンフィグファイル用の Windows ベースのコンフィグビューアをサポート致しました。</li> </ol>

## 修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
V1.09B61	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. WDS を有効にしたのち、WDS 設定を保存できない問題を修正致しました。</li> <li>2. コンソールに必要なないデバッグメッセージが表示される問題を修正致しました。</li> <li>3. リモート管理設定ページでリモート SSH を有効化した後、WAN インタフェースから DSR にログインできない問題を修正致しました。</li> <li>4. WAN1 と WAN2 の両方をクラシカルルーティングモードで動作させた場合に、宛先 NAT 設定で内部アドレスを設定する必要があった問題を修正致しました。</li> <li>5. Inter VLAN ルーティングを無効にしてもデフォルト VLAN 配下のユーザが他の VLAN に Ping できる問題を修正致しました。</li> <li>6. ユーザ名に英文字や数字以外を設定できないように修正致しました。</li> <li>7. WAN の VLAN 設定機能がなかった問題を修正致しました。</li> <li>8. ファームアップグレード時の正確な進捗だけでなく、より多くの実行情報表示できるよう修正致しました。</li> <li>9. ゲートウェイと同じサブネットにない ping 検知サーバを使うことができなかった問題を修正致しました。</li> <li>10. IPSec の 1:1 マッピングルールを削除した後、DSR の WebGUI から IPSec トンネルをドロップすることができない問題を修正致しました。</li> <li>11. IPSec の 1:1 マッピングルールを削除した後、ローカル PC がマッピング IP アドレスを持</li> </ol>



- ったリモート PC にまだ Ping できる問題を修正致しました。
12. IPSec ポリシー内のローカルネットワークを変更しても WebGUI に間違ったメッセージが表示される問題を修正致しました。
  13. CLI で security firewall ipv6 configure/edit が動作しない問題を修正致しました。
  14. 最大 VLAN に達した際、CLI を介して VLAN を編集することができない問題を修正致しました。
  15. 1:1 LAN NAT に関する問題を修正致しました。
  16. カスタムサービスポートタイプで Multiple Ports を選択し、ポートフォワーディングで、ファイアウォールルールを使った際、動作しない問題を修正致しました。
  17. 正しくない SNMP 情報を表示する問題を修正致しました。
  18. 時々再起動することがある問題を修正致しました。
  19. DSR が IPSec Site-to-site VPN トンネルを介して自身のトラフィックを送信することが出ない問題を修正致しました。
  20. WAN1/WAN2 のポートステータスとカウンタに関する問題を修正致しました。
  21. CLI コマンド "show net statistics all" が WAN2 インタフェースに関連する情報を含まない問題を修正致しました。
  22. CLI コマンド "show net wan port\_setup" が実際のインタフェースリンクスピードを表示しない問題を修正致しました。
  23. IPSec 1:1 マッピングに関する DSR オンラインヘルプ情報を更新致しました。
  24. IPsec フェイルオーバーがロールバックできない問題を修正致しました。
  25. 以下の CLI が動作しない問題を修正致しました。  
security firewall ipv6 default\_outbound\_policy  
security firewall ipv6 delete <row\_id>  
security firewall ipv6 disable <row\_id>  
security firewall ipv6 enable <row\_id>
  26. CVE-2013-5945、CVE-2013-5946 に関する脆弱性を修正致しました。
  27. UPnP に関する脆弱性を修正致しました。
  28. 両方の WAN がリンクアップしている場合に、WAN インターフェースからの ICMP レスポンスが稀にタイムアウトする問題を修正致しました。
  29. 両方の WAN がアクティブな場合、リモートクライアントは、WAN1 と PPTP トンネルを確立できるが、WAN2 とは確立に失敗する問題を修正致しました。
  30. NetBIOS が IPSec ポリシーで有効化されている場合、NetBIOS が有効になったクライアントは、NetBIOS 名で LAN ホストの共有フォルダを開くことができない問題を修正致しました。
  31. IPSec トンネルが時々切断し、すぐに復旧できないことがある問題を修正致しました。
  32. デバイスが、ユーザ設定間隔に基づいて、DPD-R-U メッセージを定期的送信しない問題を修正致しました。
  33. ユーザ認証に外部 LDAP サーバを使っている場合に、クライアントがデバイスと PPTP トンネルを確立できない問題を修正致しました。
  34. WAN 接続がリンクダウンした場合でさえ、デバイスが L2TP セッションを維持し続ける問題を修正致しました。
  35. Advanced->Certificates ページから信頼された CA を削除することができない問題を修正致しました。
  36. DHCP リレーが LAN と VLAN 間で動作しない問題を修正致しました。
  37. デバイスが 1,600 ログを保存できず、同じタイムスタンプを持ったログがすべてのログページの上部和下部に同じタイムスタンプのついたログが存在する問題を修正致しました。
  38. オンラインヘルプで、ブロックキーワードに関する記述が正しくない問題を修正致しました。

39. CLI で group description にスペースを使うことができない問題を修正致しました。
40. CLI で SSL VPN バナーメッセージを設定することができない問題を修正致しました。
41. WebUI で、管理者が W-Fi 動作周波数を 5GHz に変更した後、チャンネルがまだ、2.4GHz を表示する問題を修正致しました。
42. 管理者がデフォルトアウトバンドポリシーに"Block Always"を設定した場合、リモート IPSec クライアントへの ICMP トラフィックがブロックされる問題を修正致しました。
43. Captive Portal 機能を設定した際、Captive Portal ユーザの"パスワード変更"を無効にできないように致しました。
44. DSR が NAT ルータ配下に設置された場合に DDNS 機能が正しく動作できなかった問題を修正致しました。
45. CVE-2014-0224 の Open SSL の脆弱性の問題を修正致しました。
46. CLI で SSID の VLAN の変更ができなかった問題を修正致しました。
47. Limit download bandwidth の設定に関する問題を修正致しました。
48. CLI で "enable invalid ICMP packet log"が設定できる問題を修正致しました。
49. CLI コマンドで DHCP サーバでのドメイン名を空欄に設定することができない問題を修正致しました。
50. ブロックキーワードをエクスポートした際、エラーファイルになる問題を修正致しました。
51. UPnP 機能が正しく動作しなかった問題を修正致しました。
52. WAN をフェイルオーバーモードに設定している際、DynDNS アップデートに失敗する問題を修正致しました。
53. WebUI において、Traffic Selectors でサービス名に Any が使えない問題を修正致しました。



## 既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題点
V1.09B61	<ol style="list-style-type: none"> <li>WAN スピルオーバーモードにおいて、WAN2 がアクティブになるトリガがない場合、インターネットから WAN2 への L2TP および L2TP over IPSec を確立することができない問題。</li> <li>ワイヤレスクライアントがマルチキャスト HD ストリーミングを再生した際、WAN パフォーマンスに深刻な影響を与える問題。</li> <li>WAN1 でのみトランスペアレントモードが動作する問題。</li> <li>WinXP.reg スクリプトファイルを適用後、ルータは WindowsXP から USB ストレージに 250MB より大きいファイルを転送できない問題。</li> <li>LAN に SIP プロキシが存在すると、LAN 側クライアントの音声聞こえない問題。</li> <li>手動設定でのサマータイムがニューファンドランド及びグリーンランドタイムゾーンでは正しく動作しない問題。</li> <li>“Clone your PC's MAC Address”オプションを選択することにより、WAN1 と WAN2 ポートに同じ MAC アドレスを設定できる問題。</li> <li>WEP プロファイル (WEP-64)、別の WEP プロファイル (WEP-128) を編集した後、対応する SSID を無効/有効化するまでワイヤレスクライアントは再接続しない問題。</li> <li>自己証明書要求ページにおいて View ボタンをクリックすると“data to supply to CA” 欄が空欄になる問題。</li> <li>入力、出力の VLAN ドロップパケットエントリーがダッシュボードページで正しく表示されない問題。</li> <li>LAN と VLAN 上で同時に UPnP を有効にできない問題。</li> <li>IPSec VPN トンネル上では、Bandwidth ルールに従って動作しない問題。</li> <li>先に設定した Syslog サーバ IP アドレスを削除した後もその Syslog サーバに Syslog を送信し続ける問題。</li> <li>USB ストレージが Windows XP では完全に動作しない問題。 ローカルにコピーすることなくファイルを開くことができない。また、WindowsXP ホスト上のネットワークストレージ共有から大きいファイルをコピーすることができない。 (注：WindowsXP からネットワークストレージへのファイルコピーは正しく動作します。また、この問題は、Windows Vista, Windows7、Linux ベースの OS には影響はありません。)</li> <li>リモートデバイスでエクスポートファイルをインポートした後、ポリシーを無効にし、さらに有効化するまで IPSec トンネルが確立しない問題。</li> <li>SNMPWALK で IPSec 詳細を表示するのに時間がかかる問題。</li> <li>スピルオーバーのしきい値が、設定された値と正確に合致しない問題。</li> <li>IPSec フェイルオーバーが特定の状況でしか動作しない問題。(例：Site-to-Site トンネルモードでは、エンドポイントでのみ発生します。)</li> <li>ユーザが http または ftp のような事前に定義されたサービスを選択すると、帯域幅制御が動作しない問題。</li> <li>インバウンドトラフィック管理のための特定のサービスサポートが動作しない問題。</li> <li>Status-&gt;LAN Clients ページを開くのに時間がかかる問題。</li> </ol>

Copyright 2006-2014 D-link Japan K.K.